

学校づくり

竹野小学校 二年

わたしは一年生のころ、はずかしくて、だれにも声をかけるゆう気がありませんでした。

「いっしょう友だちができないかもしれない。」と、しんぱいしていました。

そんなわたしに、なんとヒーローがあらわれました。かなさんです。一ばんに声をかけてくれたのが、かなさんです。

それから、わたしの毎日はたのしくなりました。とてもうれしくて毎日おしゃべりをしました。

外がすすしくて、うんどうじょうをつかえる日は外であそびました。

毎日がうきうき、たのしくなりました。

ある日、かなちゃんが休みの日がありました。とてもさみしかったです。話しあいてがいなくて、つらかったです。

「そうだ。わたしもヒーローになろう。かなちゃんみたいなゆう気をだそう。」

でも、すぐにはゆう気はでませんでした。

かなちゃんは、わたしに

「いっしょにあそぼう。」

と声をかけてくれました。そうだ。わたしもこのまほうのことばをつかおう。

「ね、いっしょにあそぼう。」

まわりの人たちに声をかけてみました。その後、どんどん自分から話しかけることができるようになりました。たくさん友だちができました。

友だちって、とても大切で大じだなと思いました。

わたしのヒーローはかなさんです。こんどはわたしがヒーローになって、みんなに話しかけていきたいです。

一人でいる人にも話しかける。元気がない人にも話しかける。かなしそうにしている人にも話しかける。そうすると、みんながしあわせになる。

みんながわいわい話すことができ、しあわせな学校をつくりたいです。